

# エレベータ 地震対策 パッケージ

(機械室なし式)



もしも、の地震に先延ばししない対策を。



「地震対策パッケージ」で、最新式のエレベータと変わらない“安全・安心”をご提供します。

すばやく  
感知

閉じ込め  
防止

早期  
復旧

エレベータの地震対応で重要なのは閉じ込め防止と早期復旧。リスタート機能付P波地震管制運転と自動診断復旧サービスをセットで最新の地震対応機能を提供します。\*1

- P波センサー付地震時管制運転
- リスタート付地震時管制運転
- 自動診断・仮復旧運転

\*1 自動診断復旧サービスのご利用には、別途「NEWゴールドメンテナンス」の契約が必要です。  
\*2 現在のご契約内容やエレベータの仕様によっては、停止点検回数が変わらない場合がございます。

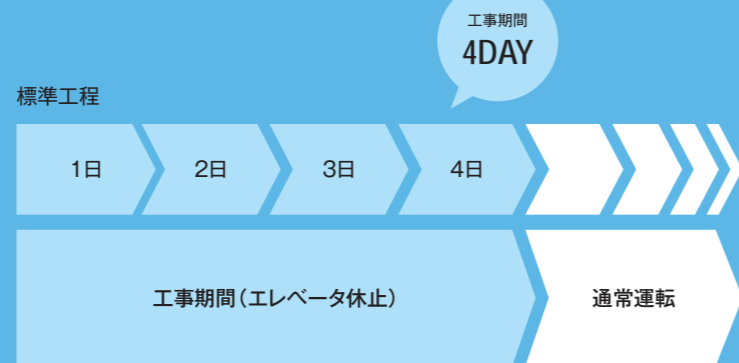
メンテナンスの高度化・合理化  
**NEWゴールドメンテナンス**

「NEWゴールドメンテナンス」の採用により、精度の高い自動点検機能が、たしかな安心をもたらします。停止点検を減らして利便性を高めるほか、万一の際の遠隔救出サービスも可能になります。\*2

4DAY<sup>※</sup>

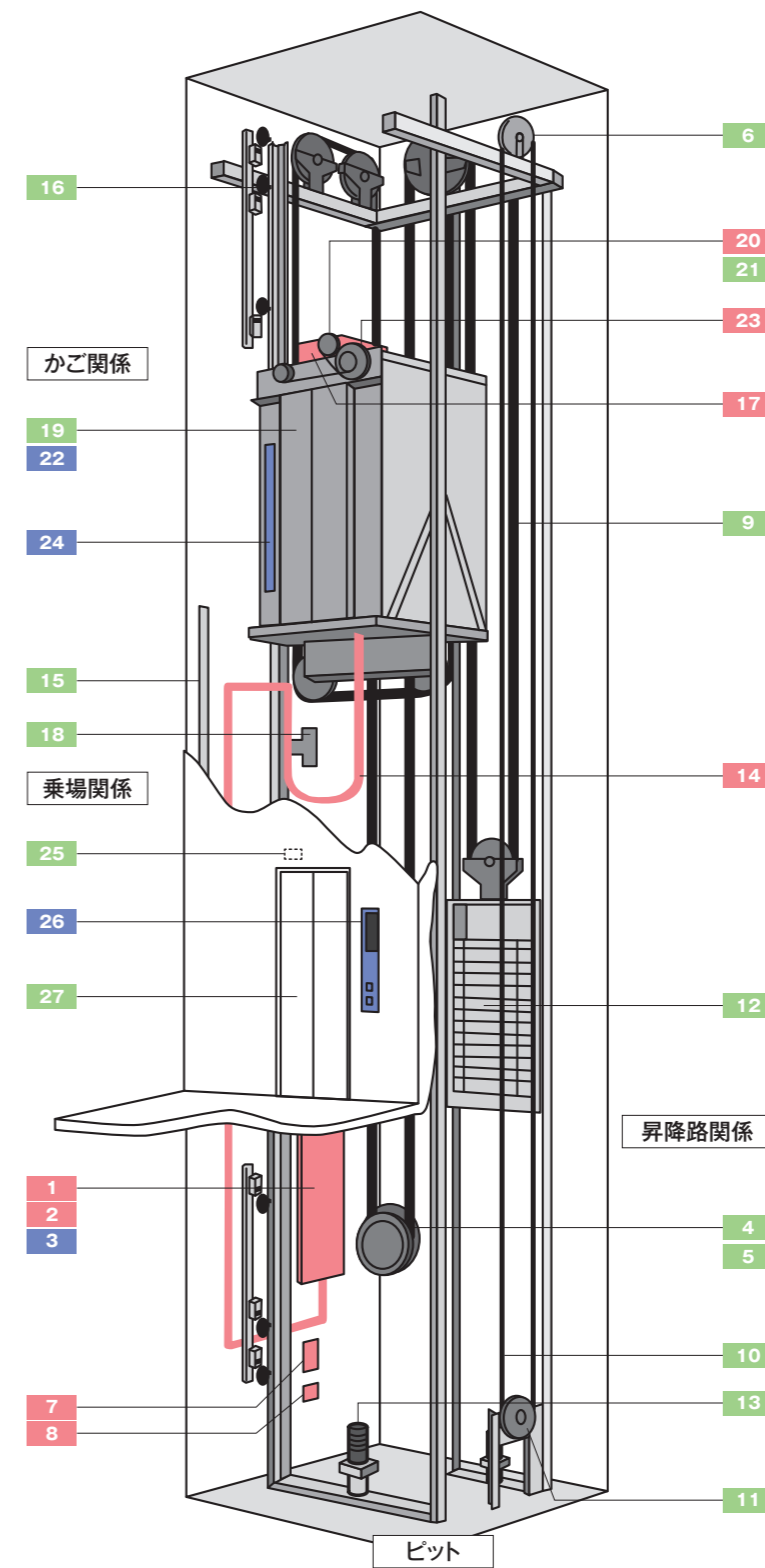
4日間で制御系統を刷新

最新の地震対策機能を装備するのに合わせて制御系統を最新式に更新します。エレベータのライフサイクルコストをセーブしつつ、通常はリニューアル時に追加する安心機能を取ることができます。



※仕様、現場状況等により工期は変動します。

地震対策パッケージの内容(対象機種:エシード、エシード-e<sup>2</sup>)



部位番号	機器名	基本更新	有償付加
1	制御盤	●	
2	停電時自動着床装置	●	
3	絶縁トランス		●
4	巻上機		
5	ブレーキ		
6	调速機		
7	P波・S波 地震感知器	●	
8	冠水検出装置	●	
9	主ロープ		
10	调速機ロープ		
11	调速機ロープ張り車		
12	釣合おもり		
13	緩衝器		
14	トラベリングケーブル	● ※1	
15	塔内電線		
16	リミットスイッチ		
17	着床位置検出スイッチ(IR)	●	
18	着床位置プレート		
19	かごドア		
20	ドア制御装置・ドアモータ	● ※1	
21	ドア開閉装置		
22	光電式多光軸センサー		●
23	かご上コントロールユニット	●	
24	かご操作盤		●
25	乗場インターロックスイッチ		
26	乗場押ボタン・位置表示灯		●
27	乗場ドア		
28	長尺物の引っ掛かり・外れ防止等	● ※2	

<注> ●印は基本更新機器を、●印は有償での更新(または追加)を示します。  
\*1 タイプにより更新が不要な場合があります。  
\*2 施工内容は既設仕様により異なります。

「緊急地震速報」連動運転にも対応。  
建物共用部での別途工事が必要となります。

# 日々の安心とコストの見直しにもつながる 価値あるバージョンアップ改修です。

## 万一のときに備えて 安全向上パッケージ

戸開走行保護装置の追加により、万一、ブレーキなどの故障があっても自動的にかごを制して、戸開走行を防止します。これに、P波センサー付地震時管制運転と耐震補強とを合わせた「安全向上パッケージ」は最新法令に準拠します。\*1

有償付加

## 日々使うドアまわりの安全・安心 多光軸ドアセンサー

地震対策パッケージと同時施工することで、はさまれ、ぶつけ、引き込まれを防止する各種ドアセンサーのほか、最近の制御システムにより、ドアエッジセンサー（ひも検出装置）の装備も可能となります。\*2

有償付加

\*1 安全向上パッケージご採用の場合でも、施工範囲外の要素で既存不適格を解消できない場合があります。

\*2 各種ドアセンサーの詳細につきましては、別途カタログをご参照ください。

## 日々の“安全・安心”を お手軽に

地震対策パッケージにより、エレベータの制御システムも同時に最新式になります。これにより、システムの処理能力と信頼性が向上し、ドア周りの安全センサーや戸開走行保護装置の追加も容易になります。



## コストの節約は 機器の更新から

制御システムの更新により「NEWゴールドメンテナンス」適用による毎月の維持コストの見直しも期待できます。また、インバータの長寿命化により、交換周期が約2倍に延長でき、ライフサイクルコストを安く節約することができます。



## 必ずお読みください!

- 交換をしていない箇所（かご・乗場ドア等）が原因の問題は改善されません。別途工事が必要となります。
  - 地震対策パッケージの工事内容は、既存エレベータのタイプや状況により相違する場合があります。
  - 既存エレベータの仕様により、地震対策パッケージをご採用いただけない場合があります。
- 詳しくは当社担当者にお問い合わせください。

## フジテック株式会社

■ 本社 / 〒522-8588 滋賀県彦根市宮田町591-1 (ビッグウイング) TEL (0749) 30-7111  
■ 首都圏統括本部 / 〒108-8307 東京都港区三田3-9-6 TEL (03) 4330-8209  
■ 近畿統括本部 / 〒567-8510 大阪府茨木市庄1-28-10 (ビッグフィット) TEL (072) 622-8394  
北海道 (011) 281-1070 / 東北 (022) 222-0271 / 北関東 (048) 645-0480 / 東関東 (043) 224-2271  
横浜 (045) 451-1601 / 静岡 (054) 255-3701 / 名古屋 (052) 229-1805 / 京滋 (075) 231-7144  
神戸 (078) 391-4795 / 広島 (082) 223-6733 / 四国 (087) 851-7130 / 九州 (092) 281-0045

● お客さま相談室

☎ 0120-807-922

受付時間 (土・日・祝日を除く) 9:00~17:00

● ホームページアドレス

[www.fujitec.co.jp](http://www.fujitec.co.jp)



- 法令を遵守してください。
- ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

● 商品改良のため、仕様などは予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

2016年7月版

JTP1607-30AD